

# 婦の野



ISO9001認証取得

〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 国  
(表題者)  
高岡市中川上町3の31  
(故)社浦 萩生先生



絵画教室に参加する潤哉さん。実物を目で追いながら描き進める時に、ペンが止まりインクが滲むところも潤哉さんの絵のおもしろいところ。

## 特集

めひのキラリ！人  
うさか寮  
池田 潤哉さん

めひの野園で頑張る利用者さんを紹介します

池田潤哉さんは、めひの野園うさか寮に入所する所時、「タクシー」などの直線的な絵を好んで描いていた少年でした。当時、園にお手伝いに来て下さっていた漆芸家(日展作家)の川西重治先生と、散歩がてらのスケッチをするのが日課でした。先生には「自閉症の人たちは視覚を通して学習しているようなので、そのことを念頭に置いて写生に連れて出て下さい」と園長からお願いしたそうです。



今でも絵画教室の終わりに描く、タクシーの絵

「キラリ!」と光る利用者さんを紹介するコーナー。今回は芸術家として的一面を持つ、池田潤哉さんを紹介します。

写生を始めてから4年。川西先生の本物の筆さばきを間近で見ることで、目の前にあるものを見ながら描くこと、また、これまで描かなかつた「曲線」で表現することができるようになったのです。先生もとても驚かれ、園長室に飛び込んでこられました。

「潤哉が曲線を描けるようになった!」

「キラリ!」と光る利用者さんを紹介するコーナー。今回は芸術家として的一面を持つ、池田潤哉さんを紹介します。



2年ほど前から始めた陶芸。用意した粘土を全部使いきるほどハマっています。



花のポットに肥料を一粒ずつ入れているところ。根気のいる作業も丁寧に行ってくれます。



作業で育てた花を自ら描くこともあります。



書道の腕前も、先生のお墨付きです!

(地域交流・広報・販売委員  
柴田香菜江)

今はゆっくり、のんびりと

その後は、目の前のものの形を目で追つて忠実に描き上げる画風で、次々と作品が生まれました。ただ、当時は描き終えるとすぐに破いてしまっていたので、彼の中で、破くことで活動終了だったのかも知れません。外作業を日課とし、教室は週に一回だけにしたところ、絵を破かなくなつたそうです。現在もウォーム・ワークやぶなみ生産課栽培・堆肥部門で毎日作業を頑張っています。

かなくなりました。一時間ほど写生をすると、「タクシー描く!」と言つて毎回同じタクシーの絵を2枚描き、それをゴミ箱に捨てて、活動を終了しています。

また、週に一回の絵画教室に加え、書道、陶芸教室にも参加しています。陶芸教室は、コロナ禍で「これまでの日常」が大きく崩れてしまった不安から、潤哉さんがひどく調子を崩してしまった時に「今できる好きなこと、楽しいことを…」と職員が試行錯誤して見つけ出した支援の一つです。教室の先生方に本物を見せ頂き、温かく見守つて頂く中で、ゆっくりとその才能が開花するのではないかという期待もあります。

いつもの時間にいつものメンバーと、大好きな芸術活動をすることで、潤哉さんの心は安定。「楽しい!」と人懐っこい笑顔を見せてくれることが、私たち支援員にとって何よりの喜びとなっています。

現在61歳の潤哉さんはまだ元気ですが、以前よりも集中して描ける時間は短くなりました。一時間ほど写生をする

# 夏祭り花火大会

2025・8・22

夕方6時30分頃。なおも暑さが和らがない中、大勢のお客様でぎわう会場の様子。



## 模擬店もライブパワーで大盛況！

模擬店会場では、やねのうえのガチョウのパンやラスク、かき氷、作業センターふじなみのいまたけ直売のほか、「子どもコーナー」のスープボーラーすくいが大賑わい。「焼き手」専門のメントでは、飛驒流葉牧場の飛驒地鶏串焼きや唐揚げ等に加え、どんどん焼も初登場。どれも目の前で焼き上げられるライブ感がお客様を呼び、大行列が出来ていきました。



毎年恒例の地域交流の場となっています

8月22日(金)、夏祭り花火大会はめひの野園和太鼓サークル「喜楽太鼓」の演奏でスタート。「マヒエ ホアラウナ」の皆さんの歌声が、集まつた皆さんを魅了しました。曲に合わせ、利用者と地域の皆さんと一緒に輪踊りを楽しみました。

また、めひの野園の「古き良き文化」を次世代に繋いでいくことも意識しました。時代の流れや働き方、若い世代の思考の変化などに合わせ、福祉の業界も変わらなければいけないこともあります。しかし次世代に残すべき良いものもあり、それが夏祭りやりんどう祭なのではないかと思います。若い職員にも実行委員に携わってもらい、先輩方が苦労して作り上げてきたものを引き継いでいけるような仕組みを作りたいと思って取り組みました。

最後に、夏祭り花火大会の開催にあたり、多くのご協力を賜り、本当にありがとうございました。

(夏祭り花火大会実行委員長 堀悦子)



頭上には夜空を彩る大輪の花火

## 地域の皆さんとの交流の場として

## 実行委員長のコメント

# 夏！平湯山の家へ

岐阜県高山市奥飛騨温泉郷の平湯温泉は、奥飛騨の中でも最も古く、歴史のある温泉です。

ここにはめひの野園の通称「平湯山の家」があり、毎年利用者の夏の避暑地として利用されています。今回は、各事業所が思い思いに楽しんできた様子をいくつか紹介します。



## やねのうえのガチョウ 1班・2班

8/4(月)・8/25(月)



いずれも暑い日ではありましたが、景色を見ながらドライブを楽しみ、山の家では事前にそれぞれが選んで買ってお弁当をみんなで食べました。

ジェンガやかるたなどで遊んだ後は、露天風呂をゆっくりと楽しみました。

帰りは上宝、神岡、細入の道の駅に立ち寄りながら家族へのお土産を買ったり、スイーツを食べたりしながらの楽しい1日になりました。



## 春の苑 8/29(金)

日帰りで行きました。初めての山の家でしたが、お弁当を食べた後、温泉にゆっくり浸かったり、かき氷を作って食べたりと、穏やかな時間を過ごすことができました。



いきとっています。

踊ることは、私にとって自分を表現できる大切な時間であり、仲間や観客と心を通わせる素敵な趣味です。これからも、踊りを通してたくさんの人と楽しい時間を共有して

これからも、色々な祭りに参加する予定で、本当にうれしかったです。これからのことを笑顔でできる人に踊りを見てもらえるのが楽しみです。地域の納涼祭やイベント等にも出演していく、お祭りを盛り上げたり、見てくれる人たちを笑顔でできることにやりがいを感じています。

7月20日に新潟県柏崎市で行われた「どんGALA祭り」に出演し、新曲「夏晴の季」を初めて披露しました。観客の皆さんとの手拍子や声援に後押しされて、仲間と一緒にって踊りきることができ、とても感動しました。その結果、優秀賞「豪」という大きな賞をいただけて、本当にうれしかったです。

踊るたびに会場全体が一体となる感覚を味わえるのが魅力です。

私の趣味は踊ることです。5歳から22歳までモダンバレエを習っていて、踊ることはずっと私の生活の一部でした。舞台に立って音楽に合わせて表現する時間は、普段の生活では味わえない特別な瞬間で、心からわくわくできる大切なものです。

## 作業センターふじなみ 1班 9/2(火)~3(水)

お昼にふじなみを出発し、好きなお菓子や食材を買って夕食を楽しみました。また、天気も良く花火を楽しんで、お風呂に浸かってゆったりとした時間を過ごしました。

## みしまの工房 1班 8/27(水)~28(木)

山の家でゆったり温泉やご飯、お菓子、夜は花火を楽しみました。2日目のお昼はドライブイン施設「アルプス街道平湯」で飛騨牛ランチを堪能しました。



## 群竹 muretake

めひの野園職員の雑感コーナー



作業センターふじなみ  
職業指導員 長越 由奈

# ガチョウ NEWS!

「どうぶつメロンパン」や夏期限定「レモンの雫」、LOVOT（ラボット）の「こむぎ」が紹介されました。「どうぶつメロンパン」は動物の顔の形をしたメロンパンで、お子さんにも大人気です。動物の種類によって中身が違い、取材時に紹介していた「うさぎ」と「ライオン」は中にカスタードクリームが入っています。

他には、「カエル」（メロンクリーム）、「ハリネズミ」や「トラ」（チョコチップ）などがいます。これはほんの一部ですが、ぜひ自分のお気に入りの「どうぶつメロンパン」を探しに足を運んでみてください。

## 「こむぎ」 NEWS

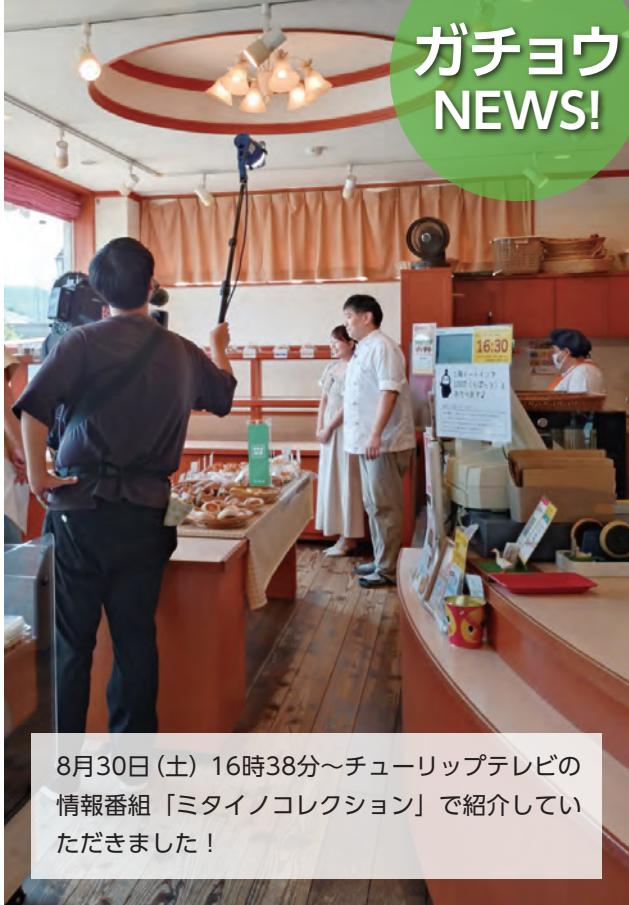


写真のほかにもかわいい  
どうぶつたちが沢山います！



写真左：レモンの雫  
写真右：ブルーベリー  
ジャム入り

## やねのうえのガチョウに取材が…



8月30日(土) 16時38分～チューリップテレビの  
情報番組「ミタイノコレクション」で紹介して  
いただきました！

定商品、そろそろお別れの時期が近づいて来ました…。「レモンの雫」に代わるデザートパンの開発中で、いちごジャムやブルーベリージャムなど、試行錯誤を重ねています。最近は、ブルーベリーとクリームチーズが入ったパンが時々店頭に並んでいます。正式に仲間入りするのが楽しみですね。

(地域交流・広報・販売委員  
 泉 奈々絵)

## ガチョウの米粉のパン

米粉で作ったパンにレモンジャムとホワイトチョコが入った、「レモンの雫」。他のパンと大きさを比べると小さく、デザート感覚で手軽に食べられるので人気の商品です。

しかし、「レモンの雫」は夏期限

歩道等の美化清掃活動を実施し、美しい街として  
 誇れるふるさと富山の実現を目指す活動です。

地域との  
つながりを  
大切に



●「杢目羊羹」をいただきました

梨の木苑の利用者さんがお世話になっている「NPO法人富山成年後見支援センター」さんを経由して、老舗和菓子店「鈴木亭」さんから「杢目羊羹」をいただきました。

グループホームの皆さんで美味しくいただきました。ありがとうございました。



今後も積極的に参加し、コミュニケーションの輪を広げていきたい  
と思います！

「令和7年度ふるさと  
富山美化大作戦」参加

8月17日(日)に、金草寮の  
皆さんに参加し、地域の皆さん  
と気持ちの良い汗を流しました。

